

令和4年(2022)日刊28463号

4|23[土]

産経新聞(サンケイ)  
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産経新聞東京本社2022  
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2  
東京(03)3231-7111 (大代表)

# 産経新聞

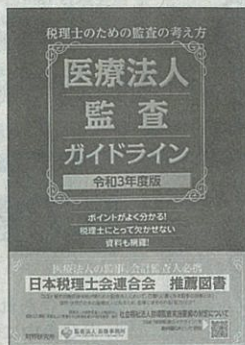
目撃して  
フィナー  
争いに  
一つ  
提供す  
めると  
も、

岡部伸著

(ワニブックス・1650円)



## 医療法人 監査ガイドライン(令和3年度版)



「昨今、医療法人や社会福祉法人での不祥事が後を絶たない。非営利組織を監査する『監事』に有益な本を作りた。あるとき監査法人長、隆事務所代表の長隆氏からこんな問題提起が寄せられました」

久保利英明・八田進二編集代表

(財界研究所・5500円)

た。大企業に限らず、病院や介護施設などでも頻発する不祥事。これを防ぐための方策を考えたいという訴えです。

### 「監事」にとって必読の書

そのためには監事を担う人の知識はもちろん、志や心構えが重要になります。そこで、数多の大企業で社外取締役や社外監査役を担ってきた弁護士久保利英明氏と会計学の大家である八田進二氏に協力を仰ぎ、編集代表となっていたいただきました。本書は2部構成。「第Ⅱ章」の資料編には医療法をはじめ、監事を使用する報告書などの様式や管理手引、会計基準、内部統制などを網羅。

「監事」にとって必読の書  
中でも医療法人の経営状況と会計監査の報酬が一目で分かる資料は必見です。しかし、仏作って魂入れずでは困ります。久保利氏と八田氏にはそれぞれ「第一章」にて「なぜ、今、外部監査の

時代なのか?」「監査役監査から見た監事の使命」と題する論文をご執筆いただきました。監事に限らず、理事長や一般の方々をも奮い立たせるような内容です。久保利氏は「監事は理事長に物申す存在。胆力が求められ、それ相応の報酬が求められる」と語り、八田氏は「監事は多くの利害関係者の利益を守る崇高な責任を自覚することが必要」と訴えます。本書により、健全な組織運営が実現されることを願います。(「財界」編集部デスク 更山太一)

### 編集者のおすすめ



## ディンテリジェンス

世界が称賛した帝国陸軍の奇跡

安全保障のための対外情報機関の充実が急務なのは言うまでもありません。本書は、戦前の情報戦検証

### 成果をあげた真心の諜報

を目的として企画されました。著者は、英国立公文書館などに通いつめ、諜報活動の新事実を次々につまびらかにしている本紙論説委員・岡部伸氏。

3人の帝国陸軍の情報士官 暗殺や裏切り、買収が日常

の偉業を紹介しています。ヤルタ密約をキャッチした小野寺信少将、2万人のユダヤ人を救い、ソ連の侵攻から北海道を守った樋口季一郎中将。そして、インド人工作を担ったF機関を率いた藤原岩市中

その「至誠」が、各国の諜報機関が脱帽する情報をもたらした。世界が称賛する成果をあげたというのは実に痛快な話です。(ワニブックス書籍編集部 川本悟史)

ウクライナ軍の善戦で、戦にもおよび、週刊誌も四苦八のがありあり。3月13日、キーウに潜入した「不肖・宮嶋」が「週刊文28日号」のグラビアでこんな話している。

「ロシア軍侵攻前からウクライナも足を踏み入れなかった下新聞、NHKの正規部隊また。彼らが来たというところは

花田紀凱の ウオッチング

国防大臣の安全宣言以上はた証拠だろう。もはや不肖。所は、ここにはあるまい。ただし、これはあくまでキマリウポリなど東部は悲惨にしている。

「ニューズウィーク日本26」のレポート「シリアの虜チンは望みを託す」で、元米同盟が、軍事作戦の司令官にホルニコフ氏についてこう

本 大木毅著 (岩波) 話題